



# えがお 愛顔つなぐえひめ国体 みきゃん通信

問 鬼北町国体推進室 内線4203・4204

No. 1

2017(平成29)年9月30日から10月10日までの11日間、愛媛県で「愛顔つなぐえひめ国体」が開催されます。そこで、今月号から「愛顔つなぐえひめ国体 みきゃん通信」と題した連載を開始し、国体に関するさまざまな情報を皆さんにお届けします。

国体とは、「国民体育大会」の略称で、日本最大の国民スポーツの祭典です。1946(昭和21)年に第1回大会が開催され、第3回大会からは都道府県対抗方式となっています。スポーツの普及や健康増進などを目的として、毎年、冬季競技を行う「冬季大会」とその他の競技を行う「本大会」が開催されています。

冬季大会は12月から2月の間の5日間以内、本大会は9月中旬から10月中旬の間の11日間以内で開催され、開催地は47都道府県を東・中・西地区に分けた持ち回り方式によって決められます。

東地区	北海道、東北、関東
中地区	北信越、東海、近畿
西地区	中国、四国、九州



(※冬季大会は、持ち回り方式は適用されません)

本大会については、今年は和歌山県、来年は岩手県で開催され、そして、再来年の2017(平成29)年には「愛顔つなぐえひめ国体」と題して愛媛県で開催されます。次回はその「えひめ国体」について詳しくご紹介します。

## 民泊の思い出

町では、国体に参加する選手・監督が一般家庭に宿泊する「民泊」を実施します。民泊の詳細については、今後、この連載で紹介していきますが、このコーナーでは、過去の国体で民泊を体験した人たちの感想をご紹介します。

今回は、ホッケー競技で民泊を実施した、山口県岩国市の民泊受入家庭の方の感想をご紹介します。

国体が近づくとつれて、民泊をする選手たちとコミュニケーションがうまくとれるだろうかと不安になり、大変なことを引き受けてしまったと思いました。公会堂で選手の紹介があり、女の子2人をお世話することになりました。我が家まで歩いて帰りながら話をした時、明るくて礼儀正しい子だなと思い安心しました。その夜は、主人と私と選手と4人で話をし、主人は「家の中に花が咲いたようだ、仕事から帰るのがとても楽しみ」と、とても喜んでいました。

試合は、期待されていた子たちだけに残念な結果に終わってしまいましたが、試合から帰って来た子たちに「ご苦労さま」と声をかけると、私に泣きながらすがって来て、私も一緒になって泣きました。4日間は大変な思いもありましたが、自治会の皆さんとの深い絆もでき、民泊を通して普段は全然縁のない子たちとの思い出もたくさんでき、民泊のお世話をさせていただいたことにとっても感謝しております。



## えがお 愛顔つなぐえひめ国体鬼北町実行委員会からのお知らせ

現在、行政区単位で民泊に関する説明会を実施しています。

民泊の実施には、町民の皆さんの協力が必要不可欠です。区長さん等から説明会のお話がありましたら、積極的に参加していただきますようお願いいたします。なお、4月から民泊協力会の受付を開始しています。

また、国体に関する情報をフェイスブックでも発信していますので、ぜひご覧ください。



愛顔(えがお)つなぐえひめ国体鬼北町実行委員会

検索